

(第2号様式)

北谷 第2942号
令和5年3月13日

沖縄県教育委員会教育長 殿

沖縄県立北谷高等学校
校長 金城優子
(公印省略)

令和4年度県立学校学校評議員の運営状況について(報告)

令和5年2月10日付け教県第1995号により依頼のありましたみだしについて、下記のとおり報告します。

記

1 日時、場所、出席状況等

第1回	日時	令和4年7月26日	場所	北谷高等学校大会議室	出席状況	評議員4名、職員9名
第2回	日時	令和4年12月26日	場所	北谷高等学校大会議室	出席状況	評議員4名、職員9名
第3回	日時	令和5年2月20日	場所	北谷高等学校大会議室	出席状況	評議員4名、職員8名

2 学校評議員に求めた事項

- (1)本校の現状についての認識
- (2)魅力ある学校づくりを進めていくために期待する取り組み
- (3)登下校時の送迎における安全対策
- (4)学校評価の結果からみえる課題や意見

3 学校評議員の意見

- (1)部活動など、活発に活動している様子が見られ、毎年、良い方向へ変化していると感じる。
- (2)進路決定数は気になるので、進路について、しっかり考える指導を頑張ってもらいたい。
- (3)これから高校へ行く子どもたちや今、通っている生徒の意識向上を図るためにも進路指導は重要である。
- (4)学校評価の結果から、生徒たちが「進路目標を持つこと」に苦勞しているのではと考える。
- (5)進路指導を先生たちが親身になって応じて欲しい。保護者も同じ意見であると思われる。
- (6)進路情報を学校から、しっかりと示してあげる必要性を感じる。
- (7)情報や選択肢があるのは良いが、ネットには安易な情報があるので、しっかり導くことが大切である。
- (8)コロナの影響もあったが、インターンシップ等の教育活動の再開で、北谷高校との連携を期待している。
- (9)自転車併走など気になる場面があるので、今後も安全ルールやマナーの指導をお願いしたい。
- (10)書物から学ぶことはとても多いので、読書指導について、学校全体で時間を設定していただきたい。
- (11)学校評価の「学校は楽しい」のパーセンテージをどんどん上げていって欲しい。

4 学校運営に反映した事項

- (1)部活動指導で外部指導者(バレーボール)を招聘し、活性化に努めた。
- (2)PTAの図書購入費を増額し、図書の充実をおこなった。
- (3)学園祭は、自治活動としてのルールづくりや学校との調整交渉を生徒たちが自らおこなった。
- (4)自転車の安全面等について、生徒指導だよりや保護者通知文で周知をおこなった。

5 課題その他

- (1)進路指導の充実
- (2)保護者や地域等と連携した開かれた学校運営
- (3)安全で安心できる学校づくり